

令和8年度 教 育 計 画						学校番号 5	
四国中央市立 三島南中学校							
校長名	片上 泰彦	学級数	8 (2)	児 童 生徒数	207	教職員数	21



三島南中学校の教育目標

『自ら考え、心豊かに、のぞみ高く生きる生徒の育成』

学校像

- ・地域とともにある学校
- ・潤いと活力のある学校
- ・歌声の響く学校



教師像

- ・地域社会と連携・協働を図る教師
- ・情熱と使命感あふれる教師
- ・生徒のよさを引き出す教師

めざす生徒像

自ら考え、学ぶ生徒

- 1 豊かに表現する力の育成
- 2 質の高い自主・家庭学習

校 訓
自 主 協 力

認め合い、のぞみ高く 共に生きる生徒

- 1 思いをめぐらす心の力の育成
- 2 生徒会による自治活動

健 康

磨き、鍛える生徒

- 1 自己の可能性を切り拓く力の育成
- 2 気づき、考え、実行する体験活動

家庭と共に育む

地域と共に育む



ギ ガ
○ 三南GIGAを推進し「すべての生徒に適した学習」を提供し
確かな学力の定着と向上に努めます。



○ 「考える道徳」「議論する道徳」「練り合う話合い活動」で、
課題を解決する力を育てます。(自己理解と他者理解、いじめの根絶)



ふるさとを愛する生徒を！

- 地域の人的・物的資源を活用した体験的な学習等を充実させ、
学校支援体制の充実を図ります。(コミュニティ・スクールの導入)三南CS
- 体育実技、体力アップ運動、部活動の充実を図り、心と身体を鍛えます。



重 点 目 標	1 経営の重点 (1) 人間尊重の精神を基盤に、人間関係構築力を高めるとともに、感性を醸成する。 (2) たゆまぬ授業改善と確実な「みとり」を通して、確かな学力の定着を図る。 (3) あらゆる教育活動を通して、未来を切り拓く資質・能力を育成する。 2 努力目標（具現策） (1) 確かな学力を定着させる学習指導の推進 ア 学力向上しこちゅ〜プランに基づき、わくわくする課題設定を行い、「分かる」「考える」「伸びる」授業の創造に努め、基礎・基本の確実な定着を図る。 （語彙力・読解力・表現力・情報活用能力の向上、ユニバーサルデザイン化の推進） イ「主体的・対話的で深い学びに向かう授業」モデルに基づき、授業改善を図る。 （ICT端末の効果的な活用、練り合う活動、学習習慣の定着） ウ 個に応じたきめ細かい指導に努めるとともに、確かな学力の定着を図る。 （ICT端末を活用しすべての生徒に教育を提供、学び合い学習による学力の定着） (2) 特別支援教育の視点を基盤に、一人一人の特性を理解した教育の推進 ア 教師が特別支援教育の視点を理解し、個に応じた教育の創造に努める。 イ 生徒の自立に向け保護者と方針を共有するとともに、進路保障に努める。 ウ 生徒や保護者、地域への啓発活動に努め、共生社会の実現に努める。 （「インクルーシブ教育」「合理的配慮」の理解と研修の充実） (3) 豊かな感性を育み、心をめぐらす力を育てる教育の推進 ア 人間尊重の精神を基盤に、道徳教育、人権・同和教育を充実させる。個性（違い）や多様な価値観を認め合い、のぞみ高く互いに生きる生徒を育てる。 イ ボランティア活動等の体験的な活動を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。（CSとの連携） ウ 自主的な生徒活動や学校行事等を通して、表現力、判断力、人間関係構築力を育てる。 エ デジタルシティズンシップの涵養に努める。 (4) 一人一人のよさを生かす生徒指導の推進 ア 生徒会を中心に生き生きとした自治活動を進め、自主、自律、協働の精神を養う。 イ 計画的、継続的な教育相談活動を通して、温かい人間関係の醸成に努める。 ウ 自尊感情を高め、自分のよさや役割への気付きを通して、自己理解や他者理解を深めることによって、いじめの根絶と不登校の解消に努める。 (5) 強い意志と体力を培う教育の推進 ア ねばり強く取り組む意志の強さと、自分の可能性を切り拓く実践力を育てる。 イ 保健体育科の学習や体力アップ運動、運動部活動の充実を図り、体力要素の向上を図る。 ウ 防災教育や、えひめジョブチャレンジU-15の活動を通して、社会で生きる力を育てる。 エ 3年間を見通して組織的・系統的なキャリア教育を推進する。 （キャリア・パスポートの活用）
管 理 運 営	1 人的管理 (1) 教職員（生徒の手本となる人）として自覚を高め、チームとして危機管理能力の向上に努める。 (2) 相互信頼を基盤とし、心理的安全性が保たれた建設的な意見が言える職場づくりに努める。 (3) 仕事の効率化に努め、ワーク・ライフ・バランスが保たれた、働きやすい環境づくりに努める 2 物的管理 (1) 危険箇所の早期発見・改善と安全管理の徹底に努める。 (2) 教育環境の整備と美化に努める。 (3) 情報の厳重管理に努める。 3 事務管理 (1) ICTを効果的に活用し、迅速・正確な事務処理と公簿の整理・保管に努める。 (2) 校務分掌における職務内容の明確化とフォローアップ体制の強化に努める。 (3) 会計事務の合理化と厳正な金銭管理に努める。
本 校 教 育 の 特 色	1 地域に抱かれ、ふるさとの人と自然と共にある学校である。 2 伝統として受け継がれる「人権劇」をはじめとする人権・同和教育に支えられた、人を大切に する風土を持つ。 3 学校 GIGA 構想をはじめとする、最新の教育と人をつなぎ「創造」する姿勢がある。